

「令和2年度（6月）阿倍野区区政会議 ご意見シート」でいただいたご意見に関する区役所の考え方

	ご意見	区役所の考え方
1	福祉・健康、まちづくり 【新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業の代替事業について】 今年度はコロナ禍の中での区政の事業であり、2-2-2の親子フェスタ、4-1-1のあべのカーニバル、スポーツフェスタなどの開催ができない可能性が高いと考えられるが、これに代わる事業についてはどのように考えられているのか？	・親子フェスタは開催中止となりましたが、子どもが遊ぶことができたり、子育てに関する相談や情報提供を行っている区内のさまざまな施設、子育て支援グループを区民に紹介するため、子育て支援連絡会の構成団体により、動画の作成等を予定しています。また、12月に感染予防に配慮しながら、これまで平日に開催していた「子育て講演会」を保護者が参加しやすい土曜日に開催する予定です。 ・「あべのカーニバル」、「あべのスポーツフェスタ」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から各実行委員会役員とも協議を行い、例年行っております不特定多数の集客を伴うイベントスタイルは中止という判断をさせていただきました。 それに代わる事業として、「あべのカーニバル」では、例年のカーニバルでステージで発表される演技部分の動画を撮影し、それを配信するという代替事業として開催を検討しております。 「あべのスポーツフェスタ」では、自宅で体を動かし、健康促進のきっかけとなるようなプログラムの動画と、各地域団体の皆様の活動等PR動画を配信するという代替事業として開催を検討しております。
2	まちづくり 【地域担当制について】 区政会議にて市民の意見を聞いて頂く事は大変有難い事と思っておりますが、役所の管理職の方が地域に来て地域の声を聞いて頂きたい。管理職の方の地域担当制をとっておられますが来られた事が無い。	阿倍野区では、地域の実情に応じた支援及び、地域の意見やニーズを適切に把握するため、地域担当制度を実施しております。担当地域の地域活動協議会等が主催するお祭り、もちつき大会等、地域のメインとなる行事や会議等へ参加し、各地域のイベント等に関する情報の発信をツイッター等で行うと共に、地域の現状や課題などの情報を収集・把握し、地域の課題解決に向けた支援を行っております。
3	まちづくり 【町会加入の広報活動について】 経営課題4、魅力と活力にあふれるまち (1)多くの区民が集う「どっぶり昭和町」、「あべのカーニバル」、「あべのスポーツフェスタ」等々のイベントも年々内容も充実してきている。 その反面、残念ながら、自分の家庭がどの連合に属し、どの町会に属しているかを知らない人も多い、町会加入の広報活動が必須である。	地域コミュニティの活性化に向けて、身近な単位である自治会・町内会単位の活動への支援として引き続き、区広報紙や区ホームページ、転入者へのチラシ配付、SNSを活用するなど、若い世代を初めとする幅広い世代へ地域の魅力のある事業や活動などを周知してまいります。 各地域では、地域の実情に応じた事業を実施していただいておりますが、区役所においてもコミュニティ育成事業など様々な事業を通じて、ご自身のお住まいの地域を知っていただくような啓発を引き続き行ってまいります。
4	まちづくり 【新たなコミュニティ支援事業について】 新たなコミュニティ支援事業については、地域活動協議会の本来の位置づけ、他の活動団体・機関との関係の明確化や連携が必要と思っております。住民や各分野の専門職からいまいっ見えにくい面があります。長年積み上げてきた地域の活動の蓄積、地域の良さをもっと共有できるようにとも思っています。 区役所のホームページの充実と合わせて、身近な掲示板での案内もさらに工夫をお願いしたい。	新たなコミュニティ支援事業については、中間支援組織(まちづくりセンター)を活用し、市民活動団体、企業等、行政といった多様な活動主体間の連携協働の促進に向けて、各地域の実情に応じた支援を行っております。特に、地縁型団体に対しては、団体の課題やニーズを把握し、他の活動主体との連携協働のメリットが実感されるよう交流やコーディネート場の場づくり事業として「あべのほっとカフェ」を開催し、地域活動協議会と各種団体等との意見交換会を開催しております。今後も引き続き各種事業を継続し、区広報紙や区ホームページ、ツイッターを活用し、地域の活動等について更なる周知を行ってまいります。
5	まちづくり 【ボランティア活動について】 多くのボランティア活動に於て、私も含めてここ2~3年で多くの団塊の世代の人が抜けてしまう状況になっています。今から後任を当たる活動を区役所の協力を受けてしなければ継続が難しくなっています。	大阪市では、地域福祉活動に関心を持ち参加するきっかけとなるよう市社会福祉研修・情報センターで市民向け講座・講演会などを行うとともに、教育委員会と連携し子どものころから福祉について学ぶ機会を設けるなど、新たな活動の担い手の育成に取り組んでいます。 阿倍野区におきましても区社会福祉協議会のボランティア活動センターで、区のボランティア活動の拠点として、ボランティア活動をしたい方に活動の場を紹介するとともに、ボランティアの援助を求めの方の相談を受け付けており、区ホームページにおいて同センターを紹介しています。 引き続き、広報紙やホームページ等を活用して啓発に取り組んでまいります。
6	安全・安心、まちづくり 【警察、建設局、環境局との連携について】 阿倍野区の街並みについて、区役所の方はどのように見られていますか。 ・阿倍野筋・我孫子筋はごみの無いきれいな道路・歩道ですか。 ・植えこみはごみの無い状態ですか。 ・通学路の白線内に植木鉢等通学を妨げる物は置かれていませんか。 ・老朽空家の危機管理は出来ていますか。この大雨で屋根瓦も緩んでいます。 ・警察・建設局・環境局等との改善改革に取り組んで頂きたい。 ・区役所の評価は町の「きれい・きたない」で評価されます。	・老朽家屋の危機管理について、倒壊の恐れのある老朽空家の通報時は、消防署に対応を求め、即時危険箇所を撤去していただいております。また、地域見守り隊によるパトロールも実施しております。今後も老朽家屋や空家の是正に向けて取り組みを行ってまいります。 ・引き続き、警察、建設局、環境局等と連携し、取り組みを進めてまいります。
7	まちづくり 【路上喫煙禁止の周知について】 4-2-1の路上喫煙禁止について。キューズモール前の歩道側は座れる高さがあり、ここに座って喫煙している人をしばしばみかける。禁止の周知ができていないと感じる。	路上喫煙禁止にかかる周知につきましては、路面シートや看板、周辺店舗店頭等より行っていますが、今後、環境局と連携し、該当地域での啓発活動の強化を行ってまいります。

「令和2年度（6月）阿倍野区区政会議 ご意見シート」でいただいたご意見に関する区役所の考え方

	ご意見	区役所の考え方
8	まちづくり 【ケーブルテレビを利用した情報発信について】 5-1-1 ケーブルテレビで情報発信とあるがどんな内容を考えているのか？費用対効果はどのような想定をしているのか？広報紙の全戸配布は評価したい。	平成28年4月からケーブルテレビJ:COMチャンネル内地元情報番組「デイリーニュース」(18時～、21:30～、23時～)にて毎月曜日に1分間ずつ、区政案内やイベント告知を放送しています。内容は毎週ごとに申請していますが、4月半ばからはコロナの関係で番組編成が一時的に変更しており、放送がされていません。なお、費用は無料です。 今後とも、広報紙の全戸配布を含め、効果的な情報発信に努めてまいります。
9	まちづくり 【区役所駐車場の有料化について】 区役所の駐車場の有料化については、いかがされるのか。(個人的には賛成しない。)	区役所駐車場の有料化につきましては、昨年度の区政会議において、区政委員の皆様からさまざまな、ご意見をいただき、区役所内でも議論をさせていただいております。 現在のコロナ禍で、「密」を避ける為に車での来庁者もおられると思われることから、駐車場有料化については、一度、引き上げさせていただき、区役所を取り巻く状況等を考慮し、今後も引き続き論点整理を行いながら、研究・検討してまいりたいと考えています。
10	まちづくり 【運営方針について】 R01のプランについては、昨年12月に個人への聞き取りをしてもらった後、3か月後に結果の整理がなされ、これほどの大量の資料を整理する労力に感心しています。その一方で既に答えありきだったのか、実施についての検証についての疑問を感じます。 R01年度の方向性とR02年度の方向性の違いを説明する資料が必要だとも思いますが、コロナ問題もあり大変な状況下での作業だったと推察でき、説明の機会も準備されなかったのが残念に思われます。 今後のためにも、会議ができないのであれば、それを補完すべきデータや資料を残しておいてもらい、閲覧できるようにしておいてもらえたらと思います。(これにも別途、労力が求められるので、お気の毒だと思うのですが、多くの地域の人材を巻き込んだ取組を実践するには、組織的に取り組む際のP(Plan)・D(Do)・C(Check)・A(Action)の流れで各過程の共有が必要だと思う次第です。) R02のプラン等について、個別に意見はあるのですが(別途メモ書きをお送りしようを準備していますが)、それよりも、国難ともいう今の時期(6月に緊急事態宣言が解除され少しずつ社会の活動が戻りつつある時期)に、このプランを提示し、検討している状況が本当に区政会議として最優先すべきことなのか、疑問に思っています(他の委員さんからも同じような意見が出ているとも思っています)。 R01の結果報告と様々なR02のプランを検討する場合ではないように強く感じます。	区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての区のめざすべき将来像、将来像の実現に向けた施策展開の方向性等を4年ごとに「阿倍野区将来ビジョン」として取りまとめ、その将来ビジョンで示された施策展開の方向性に沿って、年度ごとの施策・事業の取組みを明らかにする単年度ごとのアクションプランとして運営方針を策定しております。 令和元年度阿倍野区運営方針(自己評価)、令和2年度阿倍野区運営方針は、区の施策・事業の目標やめざす成果の達成状況を区民の皆さまに明らかにすることなどを目的として、市政改革室の策定要領に基づき統一された様式で作成しています。また、区政会議の基本となる事項に関する条例で、前年度の振り返りの段階、次年度に向けた素案策定の段階の区政会議において委員の皆さまのご意見をお伺いすることとされていますので、議題としてお示しさせていただいております。 新型コロナウイルス感染症による区の施策や事業への影響等につきましては、取りまとめたものを別途お示しさせていただきます。
11	まちづくり 【資料の分量について】 資料が多すぎて、全てに目を通すのは難しいです。もう少し簡素化できないでしょうか？以前からこのことは委員より出ていたと思います。	大阪市では、成果を常に意識して取組の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげるPDCAサイクルの徹底を狙いとし、市政改革室の策定要領に基づき統一された様式で、各区・局で運営方針を毎年度策定しています。令和元年度阿倍野区運営方針(自己評価)【様式1～3、5】、令和2年度阿倍野区運営方針【様式1～3】につきましては、区政会議の基本となる事項に関する条例で、前年度の振り返りの段階、次年度に向けた素案策定の段階の区政会議において委員の皆さまのご意見をお伺いすることとされていますので、その基礎資料として送付しています。 当区では分かりやすく説明するため、令和元年度の自己評価と令和2年度の主な取組みについて要点を強調したカラーの資料を概要として取りまとめ、お送りさせていただいております。 資料が多くなり申し訳ございませんが、今後とも、簡潔に分かりやすくなるよう工夫を行ってまいります。
12	まちづくり 【新型コロナウイルス感染症について】 新型コロナ関連のことが記載されていませんが、阿倍野区として取組みを記載してはどうでしょうか？	令和2年度阿倍野区運営方針は、区の施策・事業の目標やめざす成果の達成状況を区民の皆さまに明らかにすることなどを目的として、市政改革室の策定要領に基づき作成し、昨年度の区政会議でのご意見等を踏まえ、年度当初に確定版として公表しております。 新型コロナウイルス感染症による区の施策や事業への影響等につきましては、取りまとめたものを別途お示しさせていただきます。
13	安全・安心 【防災について】 経営課題1. 地域防災力の向上(1-1-1) (1)各地域で実施している防災訓練も約10回前後と回を重ね、それぞれの地域の実情に見合った防災訓練がなされている。近隣区と協働で開催している地域も数地域ある。特に津波を伴う「南海トラフ地震」が発生した場合は訓練の成果が活きてくると思われる。 (2)一方、参加者のうち、地域の役員、防災リーダー、女性部、消防、区役所等いわば主催者側のメンバーが目立ち(ましてや、小学校の授業とタイアップして実施している場合は特に)各町会の一般参加者が少なく感じる。 (3)地域によっては、防災訓練とは別個に「避難所開設訓練」を取り入れており地域の独自性も出てきているのはおおいに評価できる。 (4)個人の感想ですが、防災訓練の「メニュー」が多すぎ、「メニュー」をこなす事に精一杯で綺麗にできすぎている。いざ、事が起こった時に対応できるのか疑問を感じる。	災害時に救出・救護や避難所の開設など各地域の実情に合わせた訓練が実施されています。 また、地域特性に配慮し、「南海トラフ巨大地震」を想定し、近隣区との協働したまちなか防災訓練や、地域の実情に応じた訓練(ペットの同行避難訓練)など地域の課題解決に向けた内容を盛り込むなど各地域で工夫をこらした訓練を開催されています。 今後も地域が開催する防災の取組みがさらに実践的な取組みとなるよう、ワークショップや意見交換などを行い、地域特性に応じた取組みを地域と協働して推進します。

「令和2年度（6月）阿倍野区区政会議 ご意見シート」でいただいたご意見に関する区役所の考え方

		ご意見	区役所の考え方
14	安全・安心	<p>【防災について】 [令和2年度の課題] 経営課題1、地域防災力の向上 (1)先だって開催した「新型コロナ禍」における地域災害時避難所のあり方は、ほんのひな形ができた段階である。それぞれ地域避難所の特性も有ることから一連に論ずる事は不可で、大至急避難所ごとに個別に対策を講じる事が必要。 (2)いざ災害発生時には、当初予定していた地域以外の人も多数押し寄せてくる事も想定し、必要な備品の洗い出しなど地域自ら考え行政に提案すべき事と考える、思い切って「地域」に投げかけるべきである。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から避難所開設運営時の考え方等をお示しし、地域で活用いただけるよう災害時避難所開設運営マニュアル別冊(新型コロナ禍版)を作成しました。 今後は、地域と協働し各避難所における課題抽出などワークショップや意見交換などを行い、さらに実践的な研修や訓練を行えるよう支援してまいります。 コロナ禍における災害時避難所等で使用する備品等の配備に向けて、現在、大阪市危機管理室と調整を行っているところです。今後は、さらに実践的な研修や訓練を重ね、必要な備品等について地域と意見交換を進めてまいります。</p>
15	安全・安心	<p>【震災対策について】 最近大阪では地震、台風、疫病と立て続けに見舞われています。恐らく今後も続くでしょう。特に地震対策は必要かと思えます。現在の状況下では今までの対策は役に立たないと思えます。 住民一人ひとりに防災意識を持ってもらうために、具体的に脆弱な防災対策の真実を知ってもらい危機感を持ってもらう。 今まで災害時は非常持ち出し品を持って災害避難所に避難しようとしていたが、前から収容人数が少ないのにコロナ禍で一人の面積が多くなり収容人数が少なくなり自宅避難、親類宅避難、自動車内避難等が言われ始めたことがよい例です。 コロナ禍で独居高齢者の安否が問題になったが接触せずに安否が問える震災時「あべの黄色いリボン」は役立つのではないか。この際、今まで何かあると行政はコンサルに頼る、丸投げせず時間はかかるけど役人と住民が共に考え地道な活動を期待する。</p>	<p>「自助」「共助」の大切さや日頃の備えなど防災意識の向上を図るため、啓発を行っています。今後もコロナ禍における備えや避難場所の検討など区民一人ひとりが自ら考え行動してもらえるよう啓発を進めてまいります。 地域が実施する防災の取組みについて、地域の実情に合わせ、関係機関と連携し地域防災力の向上の支援をしてまいります。 災害時の安否確認や災害救助活動等の課題や各避難所に合わせた開設運営の課題などを共有し、地域の実情に応じた対策について、地域と共に検証を行ってまいります。</p>
16	安全・安心	<p>【避難所について】 昨年度の運営方針評価については、防災事業は消防、学校、福祉、地域各団体と連携してよく取り組まれていると思えますが、今後心配な地震や豪雨とコロナ対応を一体化した避難所の拡充、備品の確保やスタッフの体制の確立に向けて、これまでの蓄積をふまえて今後の運営をお願いいたします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から避難所開設運営時の考え方等をお示しし、地域で活用いただけるよう災害時避難所開設運営マニュアル別冊(新型コロナ禍版)を作成しました。 また、コロナ禍における災害時避難所等で使用する備品等の配備に向けて、現在、大阪市危機管理室と調整を行っているところです。 今後とも地域とともに避難所開設運営訓練を行うなど、地域と一体となって迅速かつ確実に災害時避難所開設運営が行えるよう努めてまいります。</p>
17	安全・安心	<p>【防災リーダーについて】 防災対策の一番大切な事は、リーダーシップを持った地域役員を育てる事と考えています。 防災リーダーには地域の現状を理解してもらい、防災リーダーの経験のない地域役員には防災に対する認識度を高めてほしい。</p>	<p>防災に関連する災害救助の技術や知識については、毎年地域防災リーダー研修や訓練を行い、スキルアップにつなげております。各地域においては、新たな担い手不足などの課題もあるため、引き続き各地域活動協議会の特色やニーズにあった支援を行ってまいります。また地域活動協議会や連合振興町会を中心とする自主防災組織への研修やワークショップ等で知識の習得を図り、地域における防災力向上の取組みを支援します。</p>
18	安全・安心	<p>【ひったくりと自転車盗の防止について】 犯罪で「ひったくり」が減少傾向ですが、「ひったくり防止カバー」の取り付けのキャンペーンを継続実施している。 ・増加傾向にある自転車の盗難防止対策にシフト変えが必要と思えます。(電動式自転車は高額) ・残念ながら、警察の広報力が弱い。</p>	<p>これまでも、自転車の盗難防止対策に取り組んでおりますが、今年度6月より、土日祝日を除く、毎月26日に区役所庁舎前にて、ひったくり防止カバーの取り付けを行う際、自転車の盗難防止対策として、「ワイヤーロック」配布による啓発を行っています。 引き続き盗難防止策につながるよう、警察署と連携して啓発を行ってまいります。</p>
19	安全・安心	<p>【子ども関係事案について】 子ども関係事案件数の増加が気になりますが、事案の内容検討と対策への結びつけをしてほしい。</p>	<p>警察等と連携し、事案の防止に向けて、周囲に対する見守りの啓発とともに、子ども自身の防犯意識を高めるような啓発などの取組みが行えるよう努めてまいります。 また、区役所としましては、子どもへの犯罪を未然に防止するため、「地域みまもり隊」職員により、通学路の巡回・防犯パトロールを行っています。</p>
20	安全・安心	<p>【歩きスマホ、自転車乗用中のながらスマホや電話について】 安全な街づくりに関連して、交通災害等で子どもや高齢者の被害が多い。最近、ながらスマホをよく見かけます。若年層及び若いお母さんの自転車を運転しながらの操作あるいは電話が特に多い。私も子どもたちの見守りをしていて、何度か見かけています。昨年、路上喫煙防止条例を制定したことに敬意を表しますが、今後、ながらスマホはまだ増加してくると思えます。早い時点での規制を実施することが望ましいと思えます。</p>	<p>自転車運転マナーや交通ルールにつきましては、これまでも警察と連携して啓発を行っておりますが、引き続き事案の発生防止のため「交通事故をなくす運動推進本部」で共有し、議論を行い、啓発活動を充実してまいります。</p>
21	福祉・健康	<p>【地域で支えあい、誰もが幸せに暮らせるまちについて】 経営課題3の「区内の高齢者人口の割合は高く、また各種手帳を持つ支援を必要とする方々は増加していますが、現状の公的サービスだけでは多種多様なニーズを持つ一人ひとりの生活を支えることは困難な状況にあります。」とある点はその通りで、今後さらに取り組みが必要ですが、同時に生活を支える公的制度・サービス拡充の提案も、要望をふまえて行う必要がある。</p>	<p>要支援者の実態把握により地域の福祉課題やニーズの把握を行い、地域自らの見守り体制等の構築や新たなネットワークづくりの支援を行うとともに、必要とされる公的制度・サービス拡充については、関係局に要望してまいります。</p>

「令和2年度（6月）阿倍野区区政会議 ご意見シート」でいただいたご意見に関する区役所の考え方

		ご意見	区役所の考え方
22	福祉・健康	<p>【地域による見守り体制の充実について】</p> <p>資料 重点的に取り組む主な経営課題P19の具体的取組(地域による見守り体制の充実)について、高齢者などの要支援者を迅速に支援できるよう把握に努めていかなければならないと思われま。当年度の取組内容はとても充実していると思えます。</p>	<p>高齢化の進展に伴い、様々な支援を必要とする高齢者が増加することが見込まれるところです。こうしたことから、地域でお互いが支えあい、幸せに暮らせる様、要支援者の実態把握から地域の福祉課題やニーズの把握に努め、地域の新たなネットワークづくりを支援することにより地域の見守り体制の充実を図ってまいります。</p>
23	福祉・健康	<p>【新型コロナウイルス感染症について】</p> <p>様々な条件が複雑に絡んで政治判断がなされ、結果として感染者数が少なくなったということだけで、学校教育も含め平常への社会生活に戻る方向が示されていますが、最近の報道からコロナ第2波への対応が心配されます。</p> <p>政治の方向性が、今でも感染者数の多寡だけを取り沙汰し、「Withコロナ」への積極的な方策が打ち出されない状態の報道が続いていますが、中でも、阿倍野区でのコロナ感染状況実態も把握できていない中で、特に高齢者にとって日常の活動を再開するための基準がないことが、殊の外、活動再開決断の心配事項であるように感じます。(百歳体操が再開できていません)</p> <p>今行動しなければならぬことは、無症状感染者が存在する現状で「あべのだけでもコロナ感染状況実態把握をすること」だと感じます。その理由は、たとえば、高齢者へのケアサービス利用や百歳体操再開の際などに、安心して参加できることになるための各個人の次の行動の指標となりえるからです。さらには、この感染把握情報は広報あべの7月に掲載されている「大阪コロナ追跡システム」を活用する場合にも、より効果を発揮することになると考えます。</p> <p>阿倍野区の「Withコロナ」への積極的アプローチを決断されることを望みます。(区長さんの英断により方向が決まれば、優秀な行政マンのアイデアなどでNEW市政改革の先陣を切ってもらえることになることを期待しています。)</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大傾向の中で、感染の機会が区域を越えての接触によるものも多く、区内における患者実態が必ずしも区内での感染に関する特性を表すものではなく、区役所が把握した実態をもとに個々に対策を講じるのは困難な状況です。</p> <p>このため、大阪府の方針として、感染拡大の予防に関しては、国、府、市保健所での協力体制のもとで、大阪府下全てのデータをもとに、医療体制や検疫体制を整備のうえで対策が講じられております。</p> <p>阿倍野区としては、医療と介護の連携の枠組の中で、区内の病院、歯科、薬局、介護施設等と、この間の課題の抽出と共有化、その解決に向けた医療機関等の連携のあり方を検討してまいります。</p> <p>外出自粛等による高齢者の活動が抑制されるとの課題については、「新しい生活様式」や各団体等が作成したガイドライン等を遵守し、適切な感染予防を徹底しながら、慎重に再開に向かいつつある状況です。</p>
24	教育会議	<p>【課外学習事業、こどもの「生きる力」を育む事業について】</p> <p>課外学習支援、「生きる力」を育む事業は、区内の学童保育との連携、子どもたちの夢や希望や自尊心の大切さ、価値に軸を置いたプログラム開発の検討をお願いしたい。</p>	<p>・課外学習支援事業は、区内中学生を対象に、民間事業者のノウハウ・専門性を活用して生徒の習熟に応じたきめ細やかな学習支援を行い、基礎学力向上及び学習習慣の定着を図る事業です。放課後の中学校教室を無償で提供することにより、安価で受講できるようにしております。</p> <p>・こどもの「生きる力」を育む事業では、子どもたちの未来が生まれ育った環境によって左右されることなく自らの可能性を追求できるように、単なる学習支援だけではなく、自分の生き方や将来を考えるきっかけ、ボランティアや職業体験などの社会体験を提供することで、将来における一人ひとりの社会的・職業的自立の促進を図ることを目的に実施しています。</p> <p>今後とも委託事業者と連携するとともに、子どもたちにとってより良いプログラムを検討し、効果的な事業の推進に努めてまいります。</p>
25	教育会議	<p>【子どもへの支援について】</p> <p>今年度の運営方針については、子どもの虐待、家庭の孤立を防ぐネットワーク、要保護児童対策地域協議会の組織の拡充、専門職の増加がほしいです。</p>	<p>今年度、区役所保健福祉課子育て支援室に、児童虐待の未然防止やリスクの軽減を図るため、社会福祉士等の資格を有する専門員を配置して、ハイリスクケースや潜在的にリスクの高い家庭の早期発見・対応に努めています。また、同じく子育て支援室に保健師を配置して、区内のすべての4歳児を対象に、健康教育や絵本の配付などを行う「4歳児訪問事業」を実施しています。</p> <p>また、当該専門員・保健師を含めた子育て支援室が調整機関となって、学校園、保育施設、こども相談センター、区役所(保健師、生活保護担当、障がい担当)等で構成する区要保護児童対策地域協議会を適切に運営し、支援対象児童等に関する情報や考え方を共有し、役割分担しながら、適切な支援・保護を図っています。</p>
26	教育会議	<p>【不登校児などの相談支援事業について】</p> <p>経営課題2【高い教育力を持ち子ども・青少年を健やかに育むまち】</p> <p>具体的取組【不登校児などの相談支援事業】</p> <p>不登校で学校になじめない子どもにリモート授業で参加は、どうでしょうか？</p> <p>大阪府寝屋川市は、小中学校の児童生徒が、登校かオンラインかを各家庭の希望に応じて選べる「選択登校制」を導入されました。</p> <p>今は、新型コロナで「登校が心配」という意見ですが、今後「学校に登校したくてもできない児童」「けがや病気で登校できない児童」いろいろな家庭環境の児童に柔軟な対応を希望します。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>大阪市教育振興基本計画では重点的取り組むべき施策の一つとして、「ICTを活用した教育」を掲げ、児童生徒一人一台の端末整備などICT環境の整備をはじめさまざまな取組みを進めており、教室と家庭を結ぶ遠隔・オンライン教育の推進も始まっております。</p> <p>阿倍野区としましても本市の方針に基づき、不登校児童生徒等への学習機会の提供等、検討を進めてまいりたいと考えております。</p>